

## 楽天とJR東日本、キャッシュレス化の推進に向けて連携 - 「楽天ペイ」アプリで「Suica」の発行・チャージを実現し、電車・バスなどの 交通機関や全国約60万の店舗で利用が可能に -

楽天グループの楽天ペイメント株式会社(本社:東京都世田谷区、代表取締役社長:中村 晃一、以下「楽天ペイメント」)と東日本旅客鉄道株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:深澤 祐二、以下「JR東日本」)は、キャッシュレス化の推進に向けて連携することとなりましたのでお知らせいたします。これにより、楽天ペイメントが運営するスマホアプリ「楽天ペイ」アプリ内で、JR東日本が提供する交通系ICカード「Suica」の発行やチャージができるよう(※1)になるとともに、全国の鉄道約5,000駅、バス約5万台のほか、交通系電子マネーとして約60万店舗でのお支払いにご利用になれます。

### 1. 連携の概要

- 開始時期 : 2020年春(予定)
- 内容 : 「楽天ペイ」アプリで「Suica」が発行可能となります。  
 また、「楽天ペイ」アプリに登録している「楽天カード」から、「楽天ペイ」アプリ内で発行した「Suica」にクレジットカード決済によるチャージができるようになります。これにより、「楽天ペイ」アプリだけで鉄道・バスなどの交通機関や、交通系電子マネー加盟店における支払いが可能となります(※2)。
- 対象端末 : 「おサイフケータイ®」に対応したAndroid™端末(※3)



※画像はイメージです。

## 2. 目的

今回、「楽天ペイ」アプリ内で「Suica」の発行・チャージが可能となることで、「Suica」の利便性が向上します。

また、「楽天ペイ(アプリ決済)」の利用者は、アプリ内での「Suica」のチャージで、ポイント総合満足度 No.1(※4)の「楽天スーパーポイント」が貯められるようになります。また、新たにアプリをダウンロードしたり、クレジットカード情報登録したりすることなく、快適・安全に「Suica」機能をご利用いただけます。

楽天ペイメントとJR 東日本は、キャッシュレスの推進に向けて、これからも様々な分野での協業を検討してまいります。

### 【楽天ペイメント株式会社について】

楽天ペイメント株式会社は、楽天グループにおいて決済・マーケティング分野を中心としたサービスを展開する企業として2019年4月に設立されました。現在、「楽天ペイ(実店舗決済)」、「楽天ペイ(アプリ決済)」、「楽天ポイントカード」、「楽天Edy」、「楽天チェック」といったサービスを運営しています。お客様には親しみやすく便利で安全な決済サービスを、加盟店様には業種・業態に合わせた幅広い決済サービスと、データを活用したマーケティングプログラムを通じたビジネス支援を提供しています。

<https://payment.rakuten.co.jp/>

- (※1) チャージ可能クレジットカードは「楽天カード」(Visa/Mastercard/JCB)が対象です
- (※2) 定期券、Suica グリーン券の購入等は、「モバイル Suica」アプリの利用が必要です
- (※3) 「おサイフケータイ®」機能が搭載された Android™端末のみ対応となります。iOS については今後検討してまいります
  - ※「おサイフケータイ」は株式会社 NTT ドコモの登録商標です
  - ※Android は Google LLC. の商標です
- (※4) 出典:ポイントに関する調査、有効回答=1,000、インターネット調査、2018年10月、実施機関:マイボイスコム

以上